

冬期限定における大腸がん検診の検体郵送回収に係る調査結果の概要

1. 調査の目的

冬期限定における大腸がん検診の検体郵送回収に係る実態の把握及び課題を抽出するため。

2. 調査の対象

平成 28 年 12 月から平成 29 年 2 月の間、大腸がん検診を実施した 453 医療機関（広島市医師会・安佐医師会・安芸地区医師会所属）

3. 調査の実施時期

平成 29 年 6 月

4. 調査の事項

検体郵送回収の実施状況、実施しなかった理由、実施した際の問題点の有無

5. 調査の方法

各医療機関に調査票を郵送し、FAX にて回収

6. 調査の集計

調査対象 453 医療機関のうち、375 医療機関から回答を得た（有効回答率 82.8%）。

7. 結果の概要

(1) 検体郵送回収の実施状況

① 実施の有無：375 医療機関中 22 医療機関（5.9%）が郵送回収を実施していた。

② 実施件数の分布：

回収件数	0 件	1～9 件	10～18 件	20 件～	合計
医療機関数（機関）	9	9	2	2	22

(2) 郵送回収を実施しなかった理由

「本人が希望しなかったため」が 215 医療機関（60.9%）で最も多く、「病院の都合等」が 43 医療機関（12.2%）、「検体温度管理が不安」が 41 医療機関（11.6%）、「指定の封筒での郵送回収が不安」が 38 医療機関（10.8%）と続いた。26 医療機関（7.4%）が「郵送回収を知らなかった」と回答した。

項 目		件数（件）	割合
1. 本人が希望しなかったため		215	60.9%
2. 指定の封筒での郵送回収が不安だったため		38	10.8%
3. 検体温度管理が不安だったため		41	11.6%
4. その他	病院の都合等（院内検査（専門容器使用、結果説明）、病院の方針等）	43	12.2%
	郵送回収を知らなかった	26	7.4%
	近隣のため受診者が持参等	19	6.4%
	医師会検査センターが回収するため	18	5.1%
	理由未記入	10	2.8%

※ 複数回答のため、割合の総和は 100%を超えます。

(3) 郵送回収を実施した際の問題点の有無

実施した 22 医療機関すべてにおいて、郵送回収上の問題点はないと回答した。